

母である私の仕事スタイル



電気通信紛争処理委員会事務局調査専門官

平松 由美

Hiramatsu Yumi

平成11年4月 郵政省採用
大臣官房人事部人材開発課
平成11年7月 電気通信局総務課
平成11年7月 電気通信局電波部計画課
平成13年1月 総務省総合通信基盤局電波部電波政策課
平成13年7月 情報通信政策局衛星放送課
平成15年8月 情報通信政策局地上放送課
平成16年7月 文部科学省研究開発局宇宙政策課調査国際室
平成17年4月 文部科学省研究開発局参事官付
平成17年7月 文部科学省研究開発局参事官付国際第2係長
平成18年8月 情報通信政策局情報通信利用促進課政策係長
平成20年7月 情報流通行政局情報通信利用促進課政策係長
平成21年7月 情報流通行政局郵政行政部信書便事業課信書便第二係長
平成22年7月 情報流通行政局総務課主査
平成24年4月 現職

周囲のサポートに感謝しています

私は平成22年9月に第1子を出産、育児休暇を1年半取得して平成24年4月に復職、電気通信紛争処理委員会事務局に配属になり、現在は電気通信紛争処理委員会の会議運営に関する手続き全般や、電気通信紛争処理委員会の活動を取りまとめた年次報告の作成を担当しています。

復職当初は子供が保育園で次々と新しい病気をもらい発熱という日々で、保育園からの呼び出しですぐにお迎えに行かなければならなかったり、熱が下がらず何日か連続でお休みをいただいたりと、職場の方々には非常に迷惑をかけてしまいました。

復職して1年たち、子供は2歳になりました。保育園のおかげで元気にたくましく成長してくれて、子供の病気でお休みを取るとは減多にないですし、定時まで働ける日も増えてきました。今の育児と仕事が両立した生活スタイルを確立できたのは、職場の方々の理解と協力があってこそだと思っています。この環境に心から感謝をしています。

印象どおりでした

郵政省（当時）を選んだ理由は、他省庁と比べて人がよさそうな感じがしたからです。妊娠中は具合の悪い日が多く、業務を軽減してもらって周りの方々にはかなり迷惑をかけてしまいました。復職したら、今度は育児で以前のように働けず…。こんな状態ですが、いつも職場の皆さんには温かく見守っていただいています。入省前に感じた人のよさはやっぱりその通りでした。

職場での経験は貴重な財産です

妊娠・出産前は他省庁への出向や海外出張をはじめとして、たくさんの貴重な経験をさせていただき、様々な分野の人たちと知り合うチャンスに恵まれました。このような経験ができたのも幅広い業務を担っている総務省だからこそですね。

出産後は、育児中ということで自分のペースで仕事ができる部署に配属させてもらっています。総務省は育児に理解のある、女性にとって働きやすい職場だと思います。